

ヤドカリのからだ

多くのヤドカ리는貝殻を住み家として生活しています。

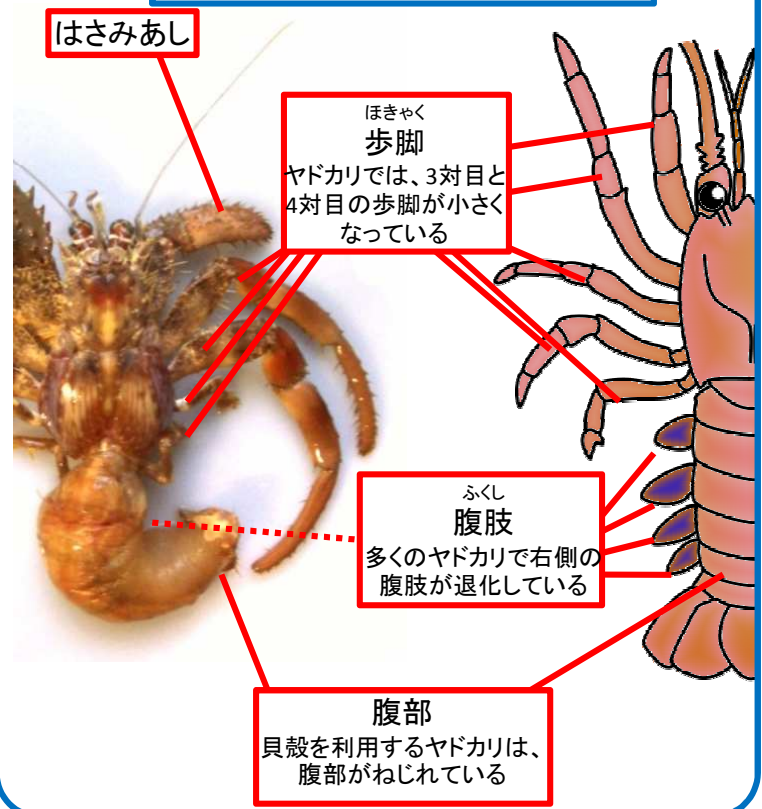
そのため、他の甲殻類とは異なった特徴を持っています。

ヤドカリの仲間は、一部を除いてほとんどが貝殻を背負って生活しています。そのため、ヤドカリは特徴的な姿に進化しました。

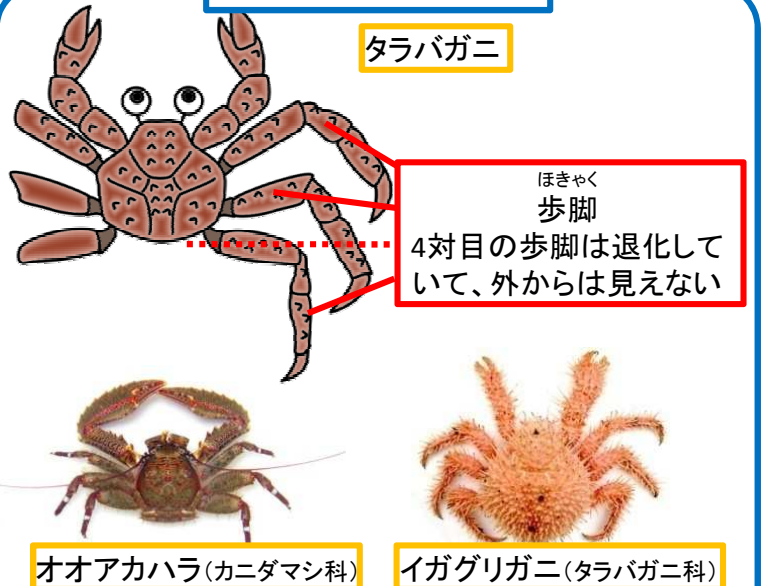
ヤドカリの腹部は、他の甲殻類と違ってやわらかく、しかも一方にねじれてまがっています。これはもちろん貝殻に入りやすくするための構造です。また、右側の腹肢(腹にある足)がなくなってしまっている種が多いです。また、貝殻をしっかりと背負えるように、3対目と4対目の歩脚が小さくなっています。さらに、尾の部分にカギヅメ状の突起をもつものもいます。

なお、ヤドカリの仲間には貝殻を利用しないものもいます。例えば、食用のタラバガニはヤドカリの仲間です。一見したところカニのようにも見えますが、歩脚が外見上3対しかないの簡単に見分けることができます(カニの歩脚は4対です)。

ヤドカリのからだ、イセエビのからだを比べると



カニそっくりなヤドカリ



タラバガニやカニダマシなどは、カニそっくりだがヤドカリの仲間。歩脚が3対しかないの簡単に見分けられる。